



世田谷文学館開館30周年記念事業



現代詩作家・荒川洋治

講演会「詩と小説と世界 ― 昭和期の名作」

激動の時代にあっても、作家たちは筆をとり、文学を愛する人たちの期待に応えようとした。世田谷ゆかりの名作をはじめ、昭和の文学史を彩る「詩」と「小説」の世界を語ってみたい。
(講師・記)

詩／中勘助、萩原朔太郎、田中冬二、蔵原伸二郎、高田敏子、石垣りん、田村隆一、寺山修司ほか

小説／徳富蘆花、尾崎翠、横光利一、宮本百合子、椎名麟三、織田作之助、中村真一郎、吉行淳之介ほか



■荒川洋治(あらかわ・ようじ 現代詩作家)

1949年、福井県生まれ。早稲田大学第一文学部卒。詩集に『水駅』(第26回H氏賞)、『渡世』(第28回高見順賞)、『空中の茱萸』(第51回読売文学賞)、『心理』(第13回萩原朔太郎賞)、『北山十八間戸』(第8回鮎川信夫賞)、評論・エッセイ集に『忘れられる過去』(第20回講談社エッセイ賞)、『文芸時評という感想』(第5回小林秀雄賞)、『過去をもつ人』(第70回毎日出版文化賞書評賞)などがある。2017年より、川端康成文学賞選考委員。2019年、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。2024年、詩集『真珠』で第5回大岡信賞を受賞。最新刊は、講演集『文学の空気のあるところ』(中公文庫)、エッセイ集『ぼくの文章読本』(河出書房新社)、編著『昭和の名短篇』(中公文庫)、『昭和の名短篇 戦前篇』(中公文庫)。日本芸術院会員。

【日時】2025年10月18日(土) 15:00～16:40(開場は14:30)

【会場】世田谷文学館 1階文学サロン

【対象】一般

【参加費】500円(当日、現金でご用意ください)

【定員】当日先着150名



京王線：芦花公園駅南口より徒歩5分

小田急線：千歳船橋駅より京王バス利用(千歳烏山駅行)、
「芦花恒春園」下車徒歩5分

東京都世田谷区南烏山1-10-10 TEL 03-5374-9111

HP <https://www.setabun.or.jp/> X <https://x.com/SETABUN/?mx=2>

*催事内容は、変更や延期・中止になる場合がございます。ご確認の上お出かけください。